



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月5日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7989 URL <https://www.blind.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池崎 久也
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小野 寿也 TEL 03(5484)6142
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	31,081	3.7	3,160	7.5	3,288	10.9	2,358	19.8
2024年12月期第3四半期	29,975	0.6	2,940	6.8	2,964	0.1	1,968	3.3

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 2,637百万円(16.1%) 2024年12月期第3四半期 2,272百万円(△6.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	117.35	—
2024年12月期第3四半期	106.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	64,622	54,580	84.5
2024年12月期	63,842	52,988	83.0

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 54,580百万円 2024年12月期 52,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	14.00	—	32.00	46.00
2025年12月期	—	20.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	50.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年12月期の配当予想の修正につきましては、本日(2025年11月5日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,800	3.4	4,400	0.9	4,600	5.1	3,200	14.2	159.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2025年12月期の配当予想の修正につきましては、本日(2025年11月5日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	20,763,600株	2024年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	662,271株	2024年12月期	661,897株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	20,101,500株	2024年12月期 3 Q	18,481,311株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善に向かい、景気は緩やかな回復基調となりましたが、物価上昇の継続により個人消費に慎重な姿勢が見られたほか、物流や建設業界の長時間労働の制限や人手不足等、先行きは不透明な状況が続いております。

また、当社グループ関連の建設・住宅業界は、建築物省エネ法および建築基準法改正に伴う駆け込み需要があったものの、建築コストの高騰や人手不足等も影響し、新設住宅着工戸数が減少傾向となっております。

このような環境の下、当社グループは、2025年12月期を最終年度とする中期経営計画「タチカワビジョン2025〜継続と進化〜」の方針に基づき、安定した収益を確保できる事業体制の構築や、建築物内外の生活環境の改善による社会貢献を継続しながら、「ものづくりとマーケティング」「経営基盤の強化」「サステナビリティへの取り組み」に関する各種施策の総仕上げを推進しております。

本中期経営計画期間中の重要な設備投資である「技術研究棟」を2024年10月に稼働しました。各種試験装置を備え、耐環境性や遮光性等、様々な状況を想定した評価を行うことで品質向上に取り組んでおり、これらの設備を活用し、開発の質とスピードを更に向上させながら、ウェルビーイングや環境に配慮した製品を順次市場導入しております。

また、サステナビリティへの取り組みについては、CO2排出量削減活動において生産プロセスの見直しによる省エネルギー化や各拠点の照明についてLED化を実施する等、サステナビリティ基本方針を踏まえ特定したマテリアリティに対し、目標達成に向けた取り組みを推進しております。

当第3四半期連結累計期間の室内外装品関連事業においては、主力ファブリック製品のリニューアルおよび価格改定を実施し、収益改善に努めたほか、バッテリー仕様のラインナップ強化を進めている電動製品や、調光ロールスクリーン「ルミエ」、調光タテ型ブラインド「エアレ」をはじめとする調光可能なファブリック製品等の拡販に努め、将来の基盤となる新規マーケットの開拓に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は31,081百万円（前年同期比3.7%増）となりました。材料費や販促費が増加しましたが、室内外装品関連事業における主力製品の価格改定により収益性を高めたことで、営業利益は3,160百万円（前年同期比7.5%増）、経常利益は3,288百万円（前年同期比10.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については、投資有価証券や固定資産の売却、福利厚生施設の減損損失による特別損益の計上や法人税額の減少により2,358百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

心身の健康を保ちながら快適に過ごせる環境を整える「ウェルビーイング」の考え方が浸透する中、「安心・安全・快適・健康・環境」を軸に、主力製品のロールスクリーン「ラルクシールド」およびタテ型ブラインド「ラインドレープ」の生地柄を、質感・配色・機能性を充実させたラインナップへ大幅にリニューアルし、また、ニーズの多い遮熱生地・遮光生地も豊富に取り揃え、高い評価をいただいています。

また、電動製品ホームタコスにも注力しており、対象製品に昨年発売した採光と眺望を自由にコントロールできる調光タテ型ブラインド「エアレ」を加えたほか、充電式のバッテリーを搭載した「バッテリー仕様」の対象製品を拡大し、更にスマートフォンの専用アプリによって開閉操作が可能となる「スマホ操作」を追加する等電動製品の更なる利便性向上に努めてまいりました。

その他、「タチカワブラインド新製品発表会」を開催し、「タチカワブラインドで満たされる心と暮らし」をテーマに、今年発売の新製品をはじめ、新たな価値観や多様化するニーズに対応する製品を訴求してまいりました。

以上の結果、売上高は26,610百万円（前年同期比4.4%増）となりました。営業利益につきましては、材料費の高騰や販促費の増加を、主力製品の価格改定やコスト低減活動等の収益改善で補った結果、2,776百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

既設物件に対する付加価値提案による改修工事が増加しましたが、主力製品の「パズルタワー」の売上が新設工事の延期などにより減少したことで、売上高は1,935百万円（前年同期比10.7%減）となりました。営業利益につきましては、原材料価格が高止まりしている中、利益率の高い改修工事が増加したことで268百万円（前年同期比31.2%増）となりました。

[減速機関連事業]

工作機械需要が緩やかな回復基調となる中、汎用減速機の売上が堅調に推移したほか、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業に注力した事で、売上高は2,535百万円（前年同期比8.8%増）となりました。営業利益につきましては、売上高の増加により115百万円(前年同期比59.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は64,622百万円で、前連結会計年度末と比較し779百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は39,557百万円で、前連結会計年度末と比較し6百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金や棚卸資産が増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。

固定資産は25,065百万円で、前連結会計年度末と比較し785百万円の増加となりました。これは主に、社債の購入や株価上昇に伴い投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は10,042百万円で、前連結会計年度末と比較し812百万円の減少となりました。これは主に、未払金や未払法人税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は54,580百万円で、前連結会計年度末と比較し1,591百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は84.5%と、前連結会計年度末と比較し、1.5ポイントの増加となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、695百万円減少し、14,281百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、3,469百万円の増加（前年同期は1,185百万円の増加）となりました。

これは税金等調整前四半期純利益3,344百万円に対し、減価償却費865百万円、売上債権の減少額2,275百万円等による増加があった一方で、棚卸資産の増加額796百万円、法人税等の支払額1,572百万円等による減少があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、3,066百万円の減少（前年同期は958百万円の減少）となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出2,000百万円や、投資有価証券の取得による支出1,014百万円等によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、1,087百万円の減少（前年同期は774百万円の減少）となりました。

これは主に、配当金の支払1,044百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を勘案した結果、2025年8月5日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2025年11月5日）公表の「通期連結業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,537,861	16,841,866
受取手形、売掛金及び契約資産	9,005,235	6,735,568
電子記録債権	7,168,147	7,239,033
商品及び製品	866,250	971,657
仕掛品	1,680,284	1,816,467
未成工事支出金	53,802	25,163
原材料及び貯蔵品	4,958,631	5,536,623
その他	379,012	468,193
貸倒引当金	△85,656	△77,376
流動資産合計	39,563,568	39,557,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,039,823	16,992,387
減価償却累計額	△10,617,032	△10,899,065
建物及び構築物（純額）	6,422,790	6,093,322
土地	8,462,924	8,226,172
その他	17,897,658	18,152,111
減価償却累計額	△15,297,764	△15,638,850
その他（純額）	2,599,894	2,513,261
有形固定資産合計	17,485,609	16,832,755
無形固定資産	421,234	416,730
投資その他の資産		
投資有価証券	3,626,611	4,909,866
退職給付に係る資産	796,602	810,492
その他	1,988,812	2,099,565
貸倒引当金	△39,674	△4,344
投資その他の資産合計	6,372,353	7,815,580
固定資産合計	24,279,196	25,065,066
資産合計	63,842,765	64,622,264

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,886,644	1,781,033
電子記録債務	2,128,123	2,056,068
未払金	1,323,292	804,877
未払法人税等	986,802	583,648
賞与引当金	240,303	798,099
役員賞与引当金	66,090	50,869
製品保証引当金	11,613	7,121
その他	1,273,977	1,189,208
流動負債合計	7,916,845	7,270,925
固定負債		
役員退職慰労引当金	465,867	144,084
退職給付に係る負債	2,351,559	2,428,217
その他	119,777	198,813
固定負債合計	2,937,203	2,771,116
負債合計	10,854,049	10,042,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	7,633,412	7,633,412
利益剰余金	40,117,963	41,431,543
自己株式	△566,643	△567,223
株主資本合計	51,659,732	52,972,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,101,680	1,372,847
為替換算調整勘定	112,863	99,705
退職給付に係る調整累計額	114,438	134,938
その他の包括利益累計額合計	1,328,983	1,607,490
純資産合計	52,988,715	54,580,222
負債純資産合計	63,842,765	64,622,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	29,975,918	31,081,934
売上原価	17,600,906	18,104,283
売上総利益	12,375,012	12,977,651
販売費及び一般管理費	9,434,562	9,816,864
営業利益	2,940,449	3,160,786
営業外収益		
受取利息	3,304	23,206
受取配当金	57,939	58,984
不動産賃貸料	28,170	27,914
受取保険金	665	-
為替差益	3,901	-
その他	58,430	31,315
営業外収益合計	152,412	141,421
営業外費用		
支払利息	282	654
不動産賃貸原価	6,436	6,338
為替差損	-	4,209
自己株式取得費用	818	-
支払手数料	118,058	-
その他	2,533	2,485
営業外費用合計	128,129	13,688
経常利益	2,964,732	3,288,520
特別利益		
固定資産売却益	3,018	166,863
投資有価証券売却益	150,704	369,320
特別利益合計	153,723	536,184
特別損失		
固定資産除却損	62	113,326
ゴルフ会員権退会損	-	4,800
減損損失	-	329,738
和解金	-	31,950
特別損失合計	62	479,815
税金等調整前四半期純利益	3,118,393	3,344,889
法人税、住民税及び事業税	1,145,235	1,197,133
法人税等調整額	△58,183	△211,107
法人税等合計	1,087,052	986,026
四半期純利益	2,031,340	2,358,863
非支配株主に帰属する四半期純利益	62,759	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,968,581	2,358,863

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	2,031,340	2,358,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218,715	271,166
繰延ヘッジ損益	1,576	-
為替換算調整勘定	8,295	△13,158
退職給付に係る調整額	12,281	20,499
その他の包括利益合計	240,869	278,507
四半期包括利益	2,272,210	2,637,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,200,007	2,637,371
非支配株主に係る四半期包括利益	72,202	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,118,393	3,344,889
減価償却費	880,349	865,717
賞与引当金の増減額 (△は減少)	552,045	557,795
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,357	△15,220
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△36,244	△9,537
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	83,145	98,838
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	27,957	△321,782
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△6,306	△4,492
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△22,597	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△44,698	△7,458
固定資産除売却損益 (△は益)	△2,956	△53,536
減損損失	-	329,738
ゴルフ会員権退会損	-	4,800
投資有価証券売却損益 (△は益)	△150,704	△369,320
受取利息及び受取配当金	△61,244	△82,191
支払利息	282	654
為替差損益 (△は益)	△3,178	4,743
売上債権の増減額 (△は増加)	2,115,585	2,275,510
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△878,183	△796,165
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,970,490	△237,605
未払金の増減額 (△は減少)	△436,286	△381,161
その他	△535,894	△240,326
小計	2,615,616	4,963,888
利息及び配当金の受取額	60,753	78,376
利息の支払額	△5	△379
法人税等の支払額	△1,491,325	△1,572,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,185,039	3,469,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△698,784	△590,645
有形固定資産の売却による収入	11,178	185,645
無形固定資産の取得による支出	△41,621	△148,423
投資有価証券の取得による支出	△883	△1,014,837
投資有価証券の売却による収入	438,449	516,808
事業譲渡による支出	△196,906	-
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	30,330	△15,067
定期預金の純増減額 (△は増加)	△500,000	△2,000,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△958,237	△3,066,525
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△32,724	△42,800
配当金の支払額	△704,830	△1,044,147
非支配株主への配当金の支払額	△37,391	-
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	164,760	-
自己株式の取得による支出	△163,724	-
その他	△693	△580
財務活動によるキャッシュ・フロー	△774,603	△1,087,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,808	△11,111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△540,991	△695,999
現金及び現金同等物の期首残高	15,402,252	14,977,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,861,261	14,281,296

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,477,803	2,167,187	2,330,927	29,975,918	-	29,975,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	58,384	58,384	△58,384	-
計	25,477,803	2,167,187	2,389,312	30,034,303	△58,384	29,975,918
セグメント利益	2,663,527	204,478	72,444	2,940,449	-	2,940,449

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	26,610,569	1,935,401	2,535,963	31,081,934	-	31,081,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	38,559	38,559	△38,559	-
計	26,610,569	1,935,401	2,574,523	31,120,494	△38,559	31,081,934
セグメント利益	2,776,661	268,321	115,804	3,160,786	-	3,160,786

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「室内外装品関連事業」セグメントにおいて、今後の使用見込みが無いと判断した遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては329百万円であります。